

## 2009 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日の間に 当科において発症前に心房細動を有する急性期脳梗塞で 入院された方及びご家族の方へ

「心房細動を原因とする脳塞栓症における発症前抗凝固療法の実態」への  
ご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

### 研究責任者

川崎医科大学脳卒中医学

教授

八木田佳樹

### 研究分担者

川崎医科大学脳卒中医学

准教授

大山 直紀

川崎医科大学脳卒中医学

准教授

井上 剛

川崎医科大学脳卒中医学

講師

植村 順一

川崎医科大学脳卒中医学

講師

山下 眞史

川崎医科大学脳卒中医学

講師

岡崎 知子

川崎医科大学脳卒中医学

臨床助教

宮里 紗季

川崎医科大学脳卒中医学

臨床助教

道勇 慧到

川崎医科大学附属病院脳卒中科

兼務レジデント

岩本 高典

## 1. 研究の概要

心房細動は脳梗塞発症率を数倍以上に上昇させる不整脈です。一方で適切な抗凝固療法を行うことで脳梗塞発症リスクを抑制することが可能です。しかし使いやすく有用性の高い抗凝固薬が広く用いられるようになっているにもかかわらず、心原性脳塞栓症は減少していません。

本研究は当院に入院した心原性脳塞栓症を対象に、発症前の抗凝固療法の実態を明らかにし、効率的な再発予防治療につなげることを目的とします。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2009 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院脳卒中科に発症前に心房細動を有する急性期脳梗塞で入院された方を研究対象とします。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日

### 3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において「発症前に心房細動を有する急性期脳梗塞」で入院された方を対象に、研究者が診療情報をもとに脳梗塞病型と原因を調べ、心房細動を原因とする心原性脳塞栓症について分析を行います。

### 4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、退院後の転帰（脳卒中中の再発の有無や生死）等

### 5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学脳卒中医学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 脳卒中医学

氏名：八木田 佳樹

電話：086-462-1111 内線 27505（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-464-1128

E-mail：yyagita@med.kawasaki-m.ac.jp

### 3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。